

平成29年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省29-28)

施策目標		28 都市・地域における総合交通戦略を推進する						担当部局名	都市局			作成責任者名	街路交通施設課長 渡邊 浩司		
施策目標の概要及び達成すべき目標		集約型都市構造を目指す都市において、自動車に過度に依存することなく移動できる環境を創出するため、都市交通施策や土地利用誘導等のまちづくりにより基幹的な公共交通の駅、停留所等から一定の圏域内に居住している人口を増加させる。						施策目標の評価結果	政策体系上の位置付け		9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護		政策評価実施予定時期	平成29年8月	
業績指標		初期値	目標値 設定年度	実績値				評価結果	目標値	目標年度	業績指標の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等				
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度									
111	公共交通の利便性の高いエリアに居住している人口割合 (①三大都市圏、②地方中枢都市圏、③地方都市圏) 【AP改革項目関連:社会資本整備等分野①】 【APのKPI】	①90.5% ②78.7% ③38.6%	平成26年度	①90.4% ②77.7% ③38.7%	①90.3% ②77.9% ③38.6%	①90.5% ②78.7% ③38.6%	①90.6% ②79.1% ③38.7%	①90.9% ②79.3% ③38.9%	①90.8% ②81.7% ③41.6%	平成32年度	・三大都市圏については、直近の伸び率の年率0.05%のトレンドで目標を設定。 ・地方中枢都市圏と地方都市圏については、地方中枢都市圏の直近の伸び率の年率0.5%のトレンドで目標を設定。 【APのKPIは、施策の達成状況を表すものになっており、APのKPIと同じ指標を業績指標として設定】				
達成手段 (開始年度)		予算額計(執行額)			29年度 当初 予算額 (百万円)	達成手段の概要				関連する 業績指標 番号	達成手段の目標(29年度) (上段:アウトプット、下段:アウトカム)				
		26年度 (百万円)	27年度 (百万円)	28年度 (百万円)											
(1) まちづくり関連事業 (昭和48年度)(関連:29-25、 28)		17,500 (11,675)	20,055 (14,458)	22,640 (21,848)	23,097	防災性能や省エネルギー性能の向上といった緊急的な政策課題に対応した質の高い施設建築物等の整備を支援する市街地再開発事業、公共交通の利用促進と人と環境に優しい交通の実現を支援する都市・地域交通戦略推進事業、まちの拠点となるエリアへの医療・福祉等の都市機能施設の整備を支援する都市機能立地支援事業、大都市の国際競争力強化に向けた戦略的プロジェクトを支援する国際競争拠点都市整備事業など。 地方公共団体向け補助は、平成22年度から原則、社会資本整備総合交付金に移行。				111	-				
(2) 社会資本整備総合交付金 (平成22年度)(再掲)		995,641 (990,139)	873,313 (871,085)	866,058 (864,909)	828,643	地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組を支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図るため、地方公共団体が作成した社会資本整備総合計画(社会資本整備総合交付金)に基づき、政策目的を実現するための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備や効果促進事業を総合的・一体的に支援する。				111	社会資本整備総合計画数(全国ベース) 社会資本整備総合計画中の成果指標目標の達成度(全国ベース)				
施策の予算額・執行額		60 (60)	500 (87)	1,013	600	施策に関係する内閣の重要政策 (施策方針演説等のうち主なもの)				【施政方針】第169回国会 施政方針演説(平成20年1月18日) 【閣決】社会資本整備重点計画(平成27年9月18日)					
備考															